



ポットラック

プロジェクト

ワークショップ

開催日 2025/05/13 Tue.

REPORT 10

S&Dスポーツパーク富士見を起点としてさまざまな世代、さまざまに暮らす市民の皆さんにとっての居場所をつくっていく「ポットラックプロジェクト」のワークショップが5月13日にクラブハウス1階拠点で開催されました。9名の方が参加され、4月のイベントのふりかえりや今年度の活動のすすめ方を話し合いました。このレポートでは当日の様子をご紹介します。

ポットラックプロジェクトって？

自分の楽しみ、やりたいこと、できることを持ち寄る。
小さくはじめる、日常の公園あそび。

本事業は地域の皆さん自身が、公園を「つかう」「つくる」「つなぐ」ことで、さまざまな世代、さまざまに暮らす皆さんにとっての居場所をつくっていく事業です。2023年度から3年かけて取り組みます。「トーク」「ワークショップ」「イベント」の3つのプログラムの中で、公園での過ごし方について考え、企画をつくり、実践。それを繰り返し行うことで、一過性ではない、新しいつながりと日常の中での過ごし方が生まれることを目指します。皆さんが普段の生活で愛用しているもの、やってみたいと思っていることなどを「持ち寄り（ポットラック）」してほしいという想いをこめて命名しました。



2025 年度のすすめ方

	2025 年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イベント		4/19			7/26	8/23		10/25		
トーク										
ワークショップ			5/23	6/28			9/11		11/13	

無理なくイベントを開催したり、集まることができるよう話し合っ
て決めた今年度の活動予定です。イベント前後に、準備会やふりかえり
会をこまめに開催しながら今年度の取組を進めていきます。

イベントをふりかえり、 今年度の取組を考えよう

STEP 01

4月のイベントをお試しいてみて「よかったこと」、「気になったこと」、「今後やってみたいこと」をふりかえりました。子ども広場での新たな過ごし方が定着しつつある様子がみられる反面、安全面や連携など今後の取組に活かしていきたい点もみえてきました。



よかったこと

- リニューアルした公園で運営スタッフも気持ちよく過ごすことができた
- 人工芝で親子と一緒に遊具遊びを楽しむ様子がみられた
- 焚き火で焼くものの持ち寄り率が上がった
- ポットラックピクニックの認知度が少しずつ高まっていると感じた

気になったこと

- プログラムを実施するための場所の十分な確保や、レイアウトの事前確認ができたらよかった
- 火を取り扱うプログラムの後片付けを安全に行いたい
- スコップやノコギリなどの道具の管理を徹底したい
- 子ども広場で実施していたプログラムとキッチンカー（中央園路に出店）とのつながりが薄かった

STEP 02

次に「今年度やってみたいこと」を考え、これからの活動のイメージをふくらませました。チャリングの実施やアウトドアの知識に関する勉強会など、「ポットラックプロジェクト」で大切にしている「チルい」過ごし方に関するアイデアのほか、各プログラムをめぐるスタンプラリーの実施などピクニックの一体感を出すアイデアもでした。



STEP 03

「ポットラックプロジェクト」を自主的に活動していくための運営体制について話し合い、活動で大切にしている「チルい」や「自分の楽しみを持ち寄る」などの継承や、公園でやってみたいことを持ち寄ってきてくれた人たちの活動をサポートするしくみについてのアイデアなどができました。

さらに、活動の広げ方のアイデアとして、アウトドアチェアをはじめとする貸出備品へ「ポットラックプロジェクト」について知ることができる二次元コードの掲載や、公園にある植物や遊具の魅力を広報するような企画の実施など、これからの取組についてじっくり話し合いをしました。

